



平成29年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年11月14日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社ビーグリー
コード番号 3981 URL <https://www.beaglee.com>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 仁平
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 櫻井 祐一 (TEL) 03(6706)4000
四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第3四半期の業績 (平成29年1月1日～平成29年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第3四半期	6,817	13.2	962	25.9	929	27.3	581	36.7
28年12月期第3四半期	6,025	—	764	—	729	—	425	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
29年12月期第3四半期	98.97		95.67					
28年12月期第3四半期	77.40		—					

- (注) 1. 当社は、平成27年12月期第3四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成28年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率については、記載しておりません。
2. 平成28年12月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、新株予約権を発行しておりますが、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。
3. 当社は、平成29年3月17日に東京証券取引所マザーズに上場したため、平成29年12月期第3四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、新規上場日から当第3四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第3四半期	7,493	4,859	64.8
28年12月期	6,971	3,337	47.9

(参考) 自己資本 29年12月期第3四半期 4,858百万円 28年12月期 3,337百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年12月期	—	0.00	—	—	—
29年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の業績予想 (平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,165	9.9	1,124	42.8	1,082	44.7	672	65.1	113.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

29年12月期 3 Q	6,050,922株	28年12月期	5,494,500株
-------------	------------	---------	------------

② 期末自己株式数

29年12月期 3 Q	95株	28年12月期	—株
-------------	-----	---------	----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

29年12月期 3 Q	5,875,308株	28年12月期 3 Q	5,494,500株
-------------	------------	-------------	------------

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3.「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

当第3四半期累計期間における日本経済は、雇用環境や企業業績の改善などによって、緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、米国の外交政策や欧州における政治リスク、北朝鮮の核・ミサイル問題などの影響から、依然として先行きが不透明な状況で推移しました。

電子書籍の市場環境は、スマートフォン・タブレットユーザーの増加を背景に、テレビCMやインターネット広告等の広告宣伝、マンガアプリやサービスの普及による電子書籍ユーザーの拡大、電子書籍ストアや出版社によるキャンペーンの拡大、電子書籍ストアのマーケティングノウハウの蓄積によるユーザーの平均購入量の増加が続いております。また、ジャンル別では電子コミックが市場を牽引しており、今後も認知度の拡大や利便性の向上による利用率の上昇、紙の書籍との同時発売の増加、電子書籍ストアのマーケティングノウハウの高度化、電子オリジナルのコンテンツや付加価値のついた電子書籍の販売、セルフパブリッシングの拡大、出版社の電子書籍への取組の積極化等により、拡大基調が続くことが予想されています。

このような市場環境の中で、当社は独自の良作の掘りおこし活動やオリジナル作品を企画する等、他社サービスとの差別化をはかるとともに、コンテンツの拡充に注力いたしました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は6,817,855千円（前年同期比13.2%増）、営業利益は962,379千円（前年同期比25.9%増）、経常利益は929,098千円（前年同期比27.3%増）、四半期純利益は581,467千円（前年同期比36.7%増）となりました。

当社の事業はコンテンツプラットフォーム事業のみであり、報告セグメントはありません。以下、当第3四半期累計期間における主な活動状況を報告いたします。

(コンテンツプラットフォーム事業)

コミック配信サービス「まんが王国」においては、販促キャンペーンの実施や約50ページ以上が無料で読める「じっくり試し読み」の充実等により、サイト訪問者を課金会員へと誘導し再訪を促進する施策を展開いたしました。また、当社独自のプロモーション活動での訴求等、タイムリーかつ積極的な広告宣伝を展開いたしました。さらに、株式会社講談社との共同プロジェクト作品「ギルティ～鳴かぬ虫が身を焦がす～」の新連載を独占先行配信する等、コンテンツの拡充を推進しております。

なお、新規・周辺ビジネスにおいては、絵の海に飛び込み漂う感覚を仮想現実(バーチャルリアリティ)技術で実現し、これまでにないアート体験を提供するプロジェクト「e-DIVE」を平成29年8月31日に発足いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における資産は7,493,443千円となり、前事業年度末に比べ522,416千円増加しました。

流動資産については3,205,378千円となり、前事業年度末と比べ759,769千円増加しました。これは主に、現金及び預金が697,681千円、有価証券が100,000千円増加した一方で、売掛金が39,417千円減少したことによるものです。

固定資産は4,288,065千円となり、前事業年度末と比べ237,353千円減少しました。これは主に、無形固定資産が231,842千円減少したことによるものです。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債は2,634,342千円となり、前事業年度末に比べ998,688千円減少しました。

流動負債は1,734,342千円となり、前事業年度末に比べ298,688千円減少しました。これは主に、未払法人税等が41,599千円増加した一方で、1年内返済予定の長期借入金が260,000千円、未払金が65,158千円減少したことによるものです。

固定負債は900,000千円となり、前事業年度末と比べ700,000千円減少しました。これは、長期借入金700,000千円減少したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は4,859,101千円となり、前事業年度末に比べ1,521,104千円増加しました。これは主に、資本金及び資本剰余金がそれぞれ469,621千円、利益剰余金が581,467千円増加したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成29年3月17日の「平成28年12月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	638,903	1,336,585
売掛金	1,741,696	1,702,279
有価証券	—	100,000
仕掛品	—	81
貯蔵品	82	105
前渡金	716	—
前払費用	5,886	6,934
繰延税金資産	49,514	49,514
関係会社未収入金	30,192	30,192
その他	11,011	11,914
貸倒引当金	△32,394	△32,228
流動資産合計	2,445,609	3,205,378
固定資産		
有形固定資産		
建物	14,662	14,662
建物附属設備	10,964	10,964
工具、器具及び備品	113,470	115,705
減価償却累計額	△87,071	△93,985
減損損失累計額	△10,371	△10,371
有形固定資産合計	41,654	36,975
無形固定資産		
のれん	4,227,556	4,044,633
商標権	1,092	188
ソフトウェア	7,148	7,737
コンテンツ資産	204,343	151,799
その他	—	3,940
無形固定資産合計	4,440,141	4,208,298
投資その他の資産		
出資金	1,000	1,000
繰延税金資産	1,367	1,367
その他	41,254	40,423
投資その他の資産合計	43,622	42,790
固定資産合計	4,525,418	4,288,065
資産合計	6,971,027	7,493,443

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	882,573	876,764
1年内返済予定の長期借入金	500,000	240,000
未払金	289,233	224,075
未払利息	156	—
関係会社未払金	2,400	2,400
未払費用	23,131	21,391
未払法人税等	153,010	194,610
未払消費税等	83,737	77,334
預り金	3,971	8,564
賞与引当金	36,339	—
ポイント引当金	58,231	89,104
その他	244	96
流動負債合計	2,033,030	1,734,342
固定負債		
長期借入金	1,600,000	900,000
固定負債合計	1,600,000	900,000
負債合計	3,633,030	2,634,342
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,373,875	1,843,496
資本剰余金	1,373,375	1,842,996
利益剰余金	590,746	1,172,214
自己株式	—	△200
株主資本合計	3,337,996	4,858,507
新株予約権	—	594
純資産合計	3,337,996	4,859,101
負債純資産合計	6,971,027	7,493,443

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
売上高	6,025,147	6,817,855
売上原価	2,904,245	3,434,282
売上総利益	3,120,902	3,383,573
販売費及び一般管理費	2,356,205	2,421,193
営業利益	764,696	962,379
営業外収益		
受取利息	94	13
受取配当金	—	7
受取精算金	1,182	—
雑収入	—	3
その他	1	6
営業外収益合計	1,279	30
営業外費用		
支払利息	17,596	8,196
融資手数料	16,130	6,694
上場関連費用	2,455	15,709
雑損失	—	1,999
その他	1	711
営業外費用合計	36,182	33,311
経常利益	729,793	929,098
税引前四半期純利益	729,793	929,098
法人税等	304,524	347,630
四半期純利益	425,269	581,467

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年3月17日付で株式会社東京証券取引所マザーズに上場いたしました。当社は上場にあたり、平成29年3月16日に公募増資による払込みを受け、資本金及び資本準備金がそれぞれ332,688千円増加しております。

また、平成29年4月19日を払込期日とする第三者割当増資（オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資）による新株式発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ132,227千円増加しております。

さらに、新株予約権の行使により、資本金及び資本準備金がそれぞれ4,705千円増加しております。

これらの結果、当第3四半期会計期間末において資本金が1,843,496千円、資本剰余金が1,842,996千円となっております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期会計期間から適用しております。

(セグメント情報)

当社の事業セグメントは、コンテンツプラットフォーム事業のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。